

MTG1500

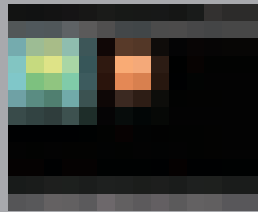
DIAGNOSTIC & MAINTENANCE TOOL

重要

ご使用前に必ずお読み下さい

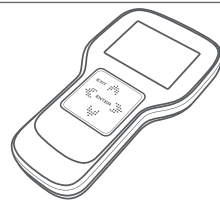
出荷時に診断ソフトはインストールされていません。登録とアップデートを行ってから、診断を行ってください。

下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って最新の状態でご使用ください。アップデートプログラムは Windows Vista 以降に対応しています。

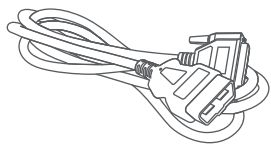


MTG1500 パッキングリスト

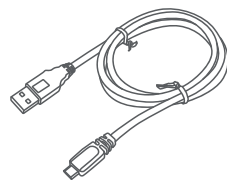
本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。お使いになる前にご確認ください。



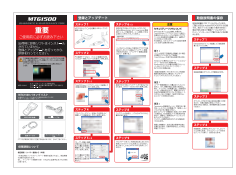
MTG1500 本体



OBDII ケーブル



USB ケーブル



クイックスタートガイド (本書)

リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

保証期間について

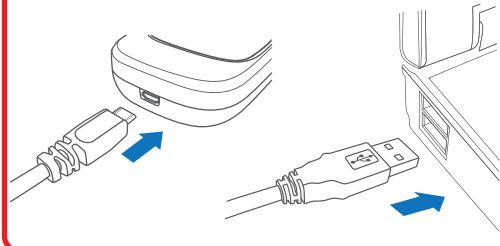
保証期間：ユーザー登録から 1 年間

期間終了後 1 ヶ月以内にアップデート延長申込をされた場合に限り、本体保証も 1 年間延長されます。

登録とアップデート

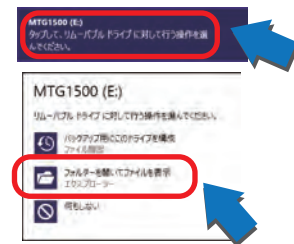
ステップ 1

MTG1500 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。



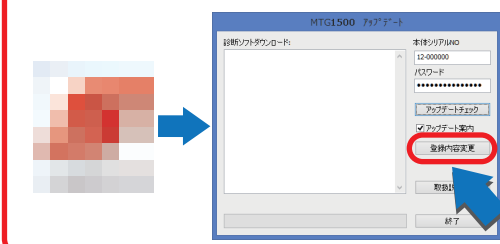
ステップ 2

PC 接続モードになり、パソコンに認識されます。「フォルダーを開いてファイルを表示」を押します。



ステップ 3 ※1

「mtg1500.exe」(アプリケーション) を起動して「登録内容変更」ボタンを押します。



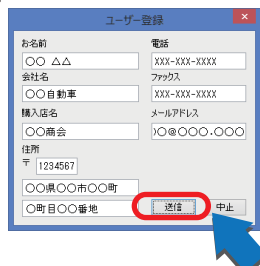
ステップ 4

プライバシーポリシーを読んで内容をよく理解して「同意する」ボタンを押します。



ステップ 5 ※2

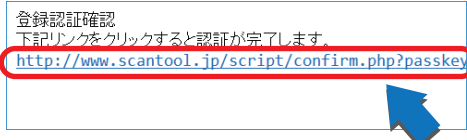
「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し「送信」ボタンを押します。



※入力欄は全て埋めてください。未入力欄があると送信できません。

ステップ 6 ※3

送信が完了すると入力したメールアドレスに「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。



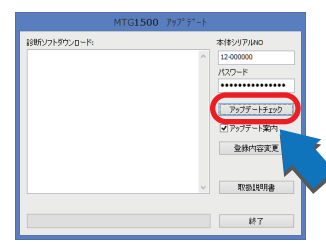
リンクをクリックするとご使用のブラウザで認証完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。(アップデート期間は登録日より 1 年間です。)



ステップ 7

アップデート

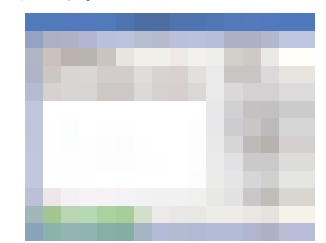
認証完了後「アップデートチェック」ボタンを押します。



ステップ 8 ※4

アップデート

アップデートが始まり、ソフトが MTG1500 に書き込まれます。



完了

アップデート

「アップデート完了」が表示されましたら「OK」を押してアプリケーションを終了してください。終了後パソコンから MTG1500 を取外してご使用ください。



注意

セキュリティソフトについて

MTG1500 をパソコンに接続した場合、「mtg1500.exe」(アプリケーション) を実行した場合にセキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

※1:

パソコンの設定で自動再生が機能しない場合は手動でパソコンのドライブを開き「mtg1500.exe」を実行する必要があります。

Windows7 の場合は [スタート] - [コンピューター] - [MTG1500] を開きます。Windows8/8.1/10 の場合は画面下のツールバーから [エクスプローラー] - [PC] - [MTG1500] を開きます。

[登録内容変更] ボタンをクリックしても「再試行して下さい」などのエラーが表示され登録画面が表示されない場合は [アップデートチェック] ボタンをクリックしてください。

※2:

ユーザー登録画面の入力欄は全て入力してください。未入力欄があると送信できません。また、メールアドレスを間違えると「登録受付メール」が届きませんので、間違えないように必ず半角英数文字で入力してください。入力が正しくないと同様に「送信できません」のメッセージが表示されます。

※3:

「scantool.jp 登録受付メール」が届かない場合は、メールアドレスの間違いや「迷惑メール」フォルダなどをご確認ください。また「ステップ 5」で複数回「送信」ボタンを押した場合は、その回数分メールが配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックしてください。アップデート期間が表示されていれば認証完了になります。

登録した情報は 2 年目以降の更新申込時に必要になります。印刷や保存など大切に保管して下さい。

※4:

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが開始されない場合は、本体内部メモリをフォーマットする必要があります。フォーマット前に必要な以下のファイルをパソコンに保存します。

- mtg1500.exe (アプリケーション)
- pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した 2 つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

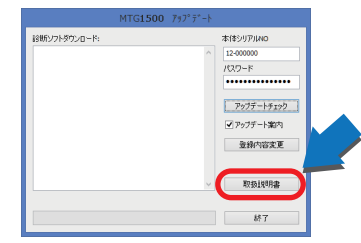
販売元：スナップオン・ツールズ株式会社 〒136-0082 東京都江東区新木場 2 丁目 1 番 6 号
お問合せ：
商品に関するご質問などは、営業担当者またはお客様のパンセリング担当者までお問合せください。
パンセリング担当者がご不明の場合は、ウェブサイト (http://www.snapon.co.jp/contact/) よりお問合せください。

取扱説明書の保存

取扱説明書は PDF ファイルになっています。ご覧になるには Adobe® READER® が必要です。またバージョンの違いで表示できない場合がありますので最新バージョンをダウンロード/インストールしてご覧になることをお勧めします。

ステップ 1

「MTG1500 アップデート」を起動して「取扱説明書」をクリックします。



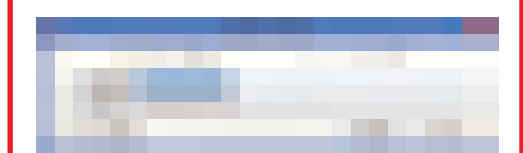
ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



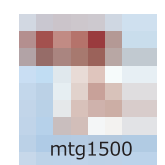
ステップ 3

ダウンロードが完了すると保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存して下さい。保存できない場合は、保存場所を変えて保存して下さい。



ステップ 4

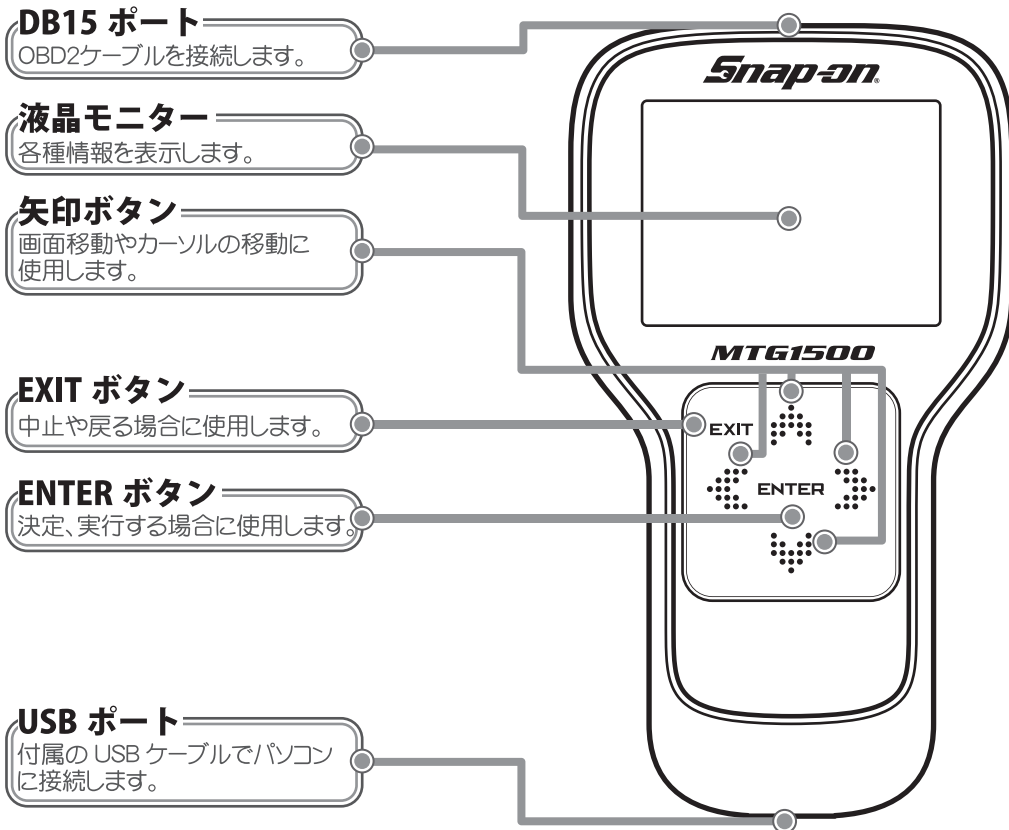
先程保存した場所にダウンロードしたファイルがあります。ダブルクリック (または右クリックで開く) で表示させます。



MTG1500 クイックスタートガイド

201704

各部名称



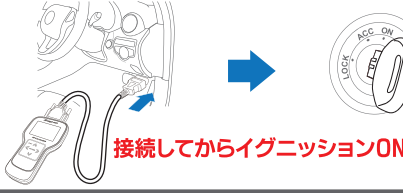
基本操作

診断を行なう場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷などが無いか確認してください。
- ・診断は基本的にイグニッション「ON」の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションがONであるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションをOFFにして取外してください。

ステップ 1

車両がイグニッションOFFであることを確認してMTG1500を接続しイグニッションONにします。



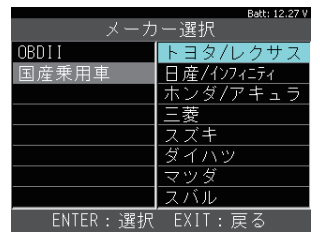
ステップ 2

メインメニューが表示されます。「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 3

メーカー選択画面が表示されますので、診断するメーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 4

診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 5

診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



ステップ 6

「ブランド」「車名」「型式」などを[ENTER]ボタンを押して順に選択していきます。



ステップ 7

診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読み取りは「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



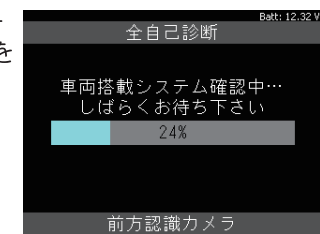
ステップ 8

例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



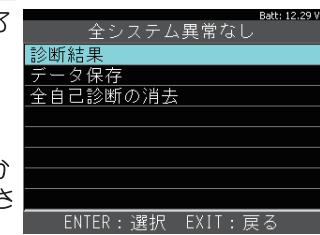
ステップ 9

車両の各システムの故障コードを読み取ります。



ステップ 10

全自己診断完了の画面です。「診断結果」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。



画面説明

診断
各種診断を行います。

設定
言語など本体設定を行います。

本体 ID
シリアルNo.・アップデート期間を表示します。

メンテナンスモード
エア抜きやバッテリー交換時のリセット等車検整備に必要な項目が集約されています。

履歴
保存した故障コードやデータ等を画面に表示することができます。

バッテリー電圧
接続されている車両のバッテリー電圧をECUから読み取り表示されます。

選択カーソル
選択されている項目欄の色が変わり、文字が反転して表示されます。

ページ数
ページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

故障コード内容
故障コードの内容が表示されます。

メインメニュー画面
MTG1500 メニュー

全自己診断結果画面
診断結果
エンジン/パワートレイン - OK
AT / CVT 1 DTC
ABS/ESP OK
BCM - OK

故障コード表示画面
過去故障 (1/1)
P1604
始動不良

タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

システム
システム名が表示されます。

故障コード数
故障コード数が表示されます。

故障コード
P/B/C/U で始まる故障コード、メーカー独自コードなどが表示されます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴]メニューまたはパソコンで表示できます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴]メニューまたはパソコンで表示できます。

診断結果の表示

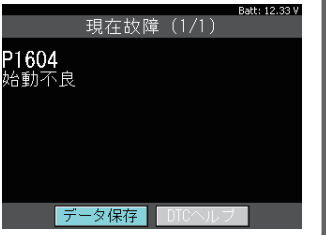
故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例：コードが2個ある場合「2 DTC」)



故障コードと内容を確認するには希望するシステムを選択して[ENTER]ボタンを押します。続いて「故障コードの読み取り」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



故障コードは番号(例：P01604)と内容(例：始動不良)で表示されます。また複数ある場合は上下矢印でその他の故障コードを表示できます。



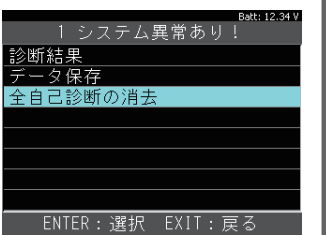
診断結果の保存

診断結果を保存したい場合は「データ保存」を選択して[ENTER]ボタンを押します。「保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名(例：TOYOTA_DTC-001)が表示されます。保存したファイルは「履歴」メニューやパソコンで確認できます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。



診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断消去」を選択して[ENTER]ボタンを押します。各システムの故障コードを消去していきます。



※消去はイグニッションONで行います。

※消去できない場合は、現在も故障が発生しており、現在故障としてコードがメモリされている状態です。

